

年 組 名前:

中学校教科書検定結果のポイント

- 合格した教科書の97%がQRコードを記載し、1年英語は1.7倍増
- 知識を活用した話し合いや探究など、生徒の主体的学習を重視
- 平均ページ数は現行版より0.2%増え2004年度以降で最多
- ウクライナ侵攻や人工知能(AI)、ジェンダーなど社会情勢を反映した記述も

1人1台の学習端末配備を受けた動きで、学校現場が学びの充実はどう生かすかが課題となる。

25年度、探究学習重視

文科省検定

97%がQR、1年英語1.7倍

中学教科書デジタル拡充

文科省は22日、2025年度から中学校で使用される教科書の検定結果を公表した。合格した10教科100点のうち97点が2次元コード(QRコード)を掲載。1年英語では21年度から使われている現行版より平均で1.7倍増の83.3カ所になるなど、デジタル教材への対応が拡充された。現行の学習指導要領に対応した2回目の検定で、前回同様に知識を活用した話し合いや探究など、生徒の主体的な学習が重視された。関連記事3、18、19面

英語の音声や理科の星の観察 ページ数を減らすため、従来動画など、教科書では表現しにくい多様な教材が利用でき、一部をデジタル化した会社もある。現行版と比べ、東京書籍はデジタル教材を8倍以上増やし8776、教育出版は2倍近い1800とした。紙の

教科書検定

教科書会社が編集した原稿段階の教科書を文科省が審査する制度。児童生徒に教えないといけない最低限の学習内容を定めた学習指導要領に則しているかなどを、学識経験者らによる教科書検定審議会がチェックする。各社は指摘された「検定意見」に沿って修正し、合格しないと学校現場で使用できない。合格の翌年度に教育委員会などが使用する教科書を選択し、その次の春から学校で使われる。おおむね4年ごとに編集、検定、採択のサイクルを繰り返す。

ズーム

の内容と密接な関連がないケースなどは見直しを求めた。デジタル化を巡っては、教材とは別に、紙の教科書と同じ内容を端末で読めるようにしたデジタル教科書が、24年度から英語で本格導入される。ウクライナ侵攻に関する記述は、社会の歴史的分野と公民的分野の全点が載せた。人工知能(AI) 関連の記載が目立ったほか、ジェンダーや家族の在り方を巡る内容も、おおむね増えた。社会は北方領土、竹島、尖閣諸島を「固有の領土」とする日本政府の見解を反映させた。平均ページ数は現行版から0.2%増え、記録のある04年度以降で最多。今回の検定は中学の103点が申請され、1点が不合格となった。社会の歴史的分野の2点は、検定結果の公表前に情報が外部に漏れたとして、合否が保留された。

(2024年3月23日付 山梨日日新聞1面)

問1 2025年度から中学校で使用される教科書の検定結果が、発表されました。合格した教科書の、何パーセントに2次元コード(QRコード)が掲載されていますか。

..... パーセント

問2 QRコードを使うことでの利点を教えてください。

.....

問3 あなたは、紙の教科書とデジタルの教科書のどちらが良いと思いますか。その理由も教えてください。

.....